

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院麻酔科/集中治療部で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

声帯筋電図電極付き気管チューブ使用麻酔の喉頭浮腫のリスク検討：後ろ向き研究

2. 対象となる方

2012年1月～2018年9月に当院脳神経外科治療を受けられた患者さん

3. 研究の目的

声帯筋電図電極付き気管チューブは、頭頸部の手術において、反回神経や舌咽神経を同定するために必要不可欠なチューブです。ただ、通常のチューブより太いため、術後に喉頭浮腫がおこる危険があります。しかし、常に起こるわけではなく、どのような条件のときにおこるかは現在わかっておりません。今後も安全に声帯筋電図電極付き気管チューブを使用するため、過去での使用において、喉頭浮腫のリスクを解明することを目的としています。

4. 研究期間

2018年12月（倫理審査委員会承認後）～2018年12月31日（予定）

5. 研究に使用する試料・情報の種類

診療情報等：診断名、術式、年齢、性別、既往歴、身長、体重、使用チューブのサイズ、術中使用薬剤、手術時間、挿管時間、出血量、水分バランス、体温、術後合併症（喉頭浮腫、人工呼吸）の発生状況等。

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院麻酔科 部長 上原健司

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院麻酔科 部長 上原健司